

「半落ち」

ベストセラー作家 横山秀夫の最高峰、待望の映画化!



「……ジャンボが消えた?」

1985年8月12日

おすたかやま
御巣鷹山に日航機墜落、死者520名――。

あの夏、命を追った記者たちの壮絶なる1週間。

| 堤 真一 | 堺 雅人 | 尾野真千子 | 高嶋政宏 | 山崎 努 |

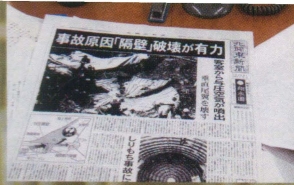
クライマーズ・ ハイ

CLIMBER'S HIGH

原田真人 監督作品

原作:横山秀夫 『クライマーズ・ハイ』(文春文庫刊) 脚本:加藤正人/成島出/原田真人
製作:若杉正明 プロデューサー:久保理基 ラインプロデューサー:松田康史 撮影:小林元 美術:福澤勝広 照明:堀道之 録音:矢野正人
音楽:村松崇継 編集:須永弘志/原田遊人 助監督:谷口正行/桑原昌英 装飾:大庭信正 VFXスーパーバイザー:小田一生 音響効果:梁崎憲治 スクリプター:川野恵美 衣裳:宮本まさ江 挿入歌「モナリザ」ナット・キング・コール
製作プロダクション:ピーワールド 配給:東映 Xキャガ・コミュニケーションズ Powered byヒューマックスシネマ
2008/日本映画/カラー/アメリカンビスタ/ドルビーデジタル/145分 ©「クライマーズ・ハイ」フィルム・パートナーズ

7.5 climbershigh.gyao.jp



クライマーズ・ハイ 未曾有の一週間が今、始まる。

1985年8月12日。群馬県にJAL123便墜落。死者520名―世界最大で最悪の単独航空機事故発生。
当時、地元紙の社会部記者としてこの大事故取材した作家・横山秀夫(「半落ち」)が自らの壮絶な体験を元に17年の時をかけて書き上げた渾身作『クライマーズ・ハイ』。発刊時各賞を席卷、圧倒的な支持を受け重版を重ね、今なお大ベストセラーに君臨しながらその映画化は到底困難と思われていた本作が、熱烈なファンの声に応え、遂にスクリーンに登場する！

群馬県、北関東新聞社。地元が現場となった、航空機事故の全権デスクに任命されたのは、組織から一線を画した遊軍記者・悠木和雅(堤真一)だった。モラルとは？真実とは？新聞はく命の重さ>を問えるのか？プレッシャーに押しつぶされながらも信念を貫き通そうと必死にもがいた悠木が見たものは？これはあの暑かった夏をひとときわ熱く駆け抜けた新聞記者たちによる濃密な日々記録である。

「クライマーズ・ハイは解けた時が怖いんです。
麻痺していた恐怖心が一気に噴き出す。」

「……おれも体験した。」

「いつ？」

「ジャンボが墜ちた一週間さ……」

【クライマーズ・ハイ】

登山時に興奮状態が極限まで達し、恐怖感が麻痺してしまう状態。

クライマーズ・ハイ

CLIMBER'S HIGH

堤真一 塚雅人 尾野真千子 高嶋政宏 山崎努

原田真人監督作品 原作:横山秀夫『クライマーズ・ハイ』(文春文庫刊) 脚本:加藤正人/成島出/原田真人 製作:若杉正明 プロデューサー:久保理瑠
ラインプロデューサー:松田康史 撮影:小林元 美術:福澤勝広 照明:堀直之 録音:矢野正人 音楽:村松崇継 編集:須永弘志/原田遊人 助監督:谷口正行/藤原昌英
監修:大庭信正 VFXスーパーバイザー:小田一生 音響効果:薬嶋憲治 スクリプター:川野恵美 衣裳:宮本まさ江 挿入歌:「モノリザ」ナット・キング・コール
製作プロダクション:ビーワイルド 配給:東映 〆ギャガ・コミュニケーションズ USA OPEN Powered byビューマックスシネマ

2008/日本映画/カラー/アメリカンビスタ/ドルビーデジタル/145分 ©「クライマーズ・ハイ」フィルム・パートナーズ

climbershigh.gyao.jp

劇場内での映画の
撮影・録音は総厚で16
mmのフィルムを使用
www.eigakan.org
0120-550098



クライマーズ・ハイ
横山秀夫

原作:横山秀夫

「クライマーズ・ハイ」(文春文庫刊)

7/5(土) 全国ロードショー